

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0601 - 01

事務事業名	「グリーンとしま」再生プロジェクト事業	担当組織	環境清掃部	環境政策課
-------	---------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	①「グリーンとしま」再生プロジェクト事業			②
				計画事業No. 5 - 1 - 2 - 1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	みどりの創造と保全	
施策	みどりのネットワークの形成	施策番号	5-1-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	学校等の区有施設のほか、民有地への植樹などを通じて、区全体の緑化を推進します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区有施設、民有地、区民等							
	事業の目的・期待する効果	緑被率が低く、公園面積も小さい本区において、公共施設や区有地に植樹や緑のカーテンを行い、みどりを増やす。							
	事業概要	「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会を中心に、地域住民、団体等とともに「いのちの森」づくりと維持管理を行う。みどりのカーテン、誕生記念樹配付など様々な手法により、緑豊かなまちづくりを進める。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	平成21年度から区立小中学校、区施設、区立公園を中心に区内100か所以上に、土地本来の樹種を植樹。平成30年度に「10年で10万本」を達成し、みらい館大明にて記念式典を開催した。その後、区長から「区民1人1本、29万本」という新たな目標の表明があり、これまでの植樹の維持管理に比重を移しつつプロジェクトを継続する。								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 樹木本数（苗木の配布本数を含む）（累計）	↗	本	109,976	126,744	130,000	133,325	136,000
		② 緑のカーテン延面積	↗	m <sup>2</sup>	2,336	1,562	2,600	2,054	2,600
		③							
	指標の説明	①「いのちの森」の樹種の樹木の植樹本数、民有地への植樹として区民に配布した苗木の本数、他課で街路樹等で植樹した樹木の本数の平成21年度からの累計 ②小中学校、区施設における年度ごとの緑のカーテン施工面積の合計。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	緑のカーテンについて、令和2年度よりは回復したが新型コロナウイルス感染症の影響により実施施設数が減少したことによる。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会年2回開催。 「いのちの森」「学校の森」植樹等6,581本。 「いのちの森」維持管理並びに現状調査。 育樹活動 池袋本町電車の見える公園、南長崎はらっぱ公園、区民講習会は中止。 緑のカーテン 取組み施設 小中学校15校、区施設49か所。 誕生記念樹の配付622本							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会開催回数	→	回	1	2	2	2	2
		② 緑のカーテン実施施設数	↗	か所	71	59	70	64	70
	③								
	指標の説明	①「グリーンとしま」再生プロジェクトの推進組織の活動を示す。 ②緑のカーテンの実施規模を示す。							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	緑のカーテンについて、令和2年度よりは回復したが新型コロナウイルス感染症の影響により実施施設数が減少した。					

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	8,871	7,061	9,297	8,552	92.0%	10,703	2,151
人件費	【正規(人数)】	(1.81)	(1.65)	—	(1.30)		(1.43)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.39)	—	(0.41)		(0.41)	—
	人件費 B	B	15,385	15,429	—	12,526		13,631
事業費(人件費含む)	C=A+B	24,256	22,490	—	21,078		24,334	3,256
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	24,256	22,490	—	21,078		24,334	3,256

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒		B	根拠	成果指標・活動指標ともに未達成があるため。																														
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。																																		
① 指標に表れない成果																																			
区民と共に実施した植樹や育樹、配布された苗木を育てることで、区民が生物や命の大切さを実感し、環境への意識が高まった。																																			
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題																																			
植樹本数については、大規模な公園整備が終わり大量の本数は見込めない。苗木の区民への配付等を行い地道ではあるが着実に本数を積み上げていく。当初の植樹から13年が経過し、生長した樹木の維持管理が課題となっている。																																			
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	専門的分野は専門家に委託するなど、すでに効率的に実施している																														
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																																		
① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td style="width:10%; text-align: center;">無</td> <td style="width:10%;">選択の理由</td> <td colspan="3">SDGsや気候変動等、今一番取り組むべき環境に関する内容のため。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">植樹、剪定、イベント設営等直営ではできない部分は委託している。</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td style="text-align: center;">適正</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">90%以上の執行率となっている。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>(有の場合) 事業名</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	SDGsや気候変動等、今一番取り組むべき環境に関する内容のため。			直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	植樹、剪定、イベント設営等直営ではできない部分は委託している。			(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。			執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	90%以上の執行率となっている。			統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名			
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	SDGsや気候変動等、今一番取り組むべき環境に関する内容のため。																																
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	植樹、剪定、イベント設営等直営ではできない部分は委託している。																																
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。																																
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	90%以上の執行率となっている。																																
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名																																	
② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">過去3年間に改善を行った。</td> <td style="width:15%; text-align: center;">いいえ</td> <td style="width:15%; text-align: center;">はい</td> <td style="width:20%;">取組内容及び効果</td> <td style="width:15%;">予算措置</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>改善の予定</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td colspan="3">維持管理体制の構築、継続的な植樹活動。</td> <td>予定時期</td> <td style="text-align: center;">未定</td> </tr> <tr> <td>改善の予算措置</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>剪定等の専門的な内容のため。</td> </tr> </table>						過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置		改善の予定	有	無	改善の予定がない理由			改善の内容	維持管理体制の構築、継続的な植樹活動。			予定時期	未定	改善の予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	無	予算措置を伴う理由						剪定等の専門的な内容のため。
過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置																															
改善の予定	有	無	改善の予定がない理由																																
改善の内容	維持管理体制の構築、継続的な植樹活動。			予定時期	未定																														
改善の予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	無	予算措置を伴う理由																														
					剪定等の専門的な内容のため。																														
③ 事務改善(事務効率化)の余地																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">効率化の余地</td> <td style="width:15%; text-align: center;">無</td> <td style="width:15%; text-align: center;">無</td> <td style="width:20%;">余地のない理由</td> <td colspan="2">これまで軽微な事務改善は行っており、更なる改善の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td colspan="3"></td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の予算措置</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>						効率化の余地	無	無	余地のない理由	これまで軽微な事務改善は行っており、更なる改善の余地はない。		効率化の内容				予定時期		改善の予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由													
効率化の余地	無	無	余地のない理由	これまで軽微な事務改善は行っており、更なる改善の余地はない。																															
効率化の内容				予定時期																															
改善の予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																															
(3) 必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(C)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		A	根拠	高密度都市であり、みどりの少ない本区において、ヒートアイランド対策やCO2吸収の面で区民と共に取り組む施策は重要である。																														
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区」の他の事業より注力すべき事業または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																		
① 区が実施する理由(複数選択可)																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%; text-align: center;">○</td> <td style="width:40%;">区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td style="width:50%;">法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td>その他(理由)</td> </tr> </table>						○	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。		民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																								
○	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。																																	
	民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																																	
② 区民ニーズ																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">区民ニーズを表す指標</td> <td style="width:15%; text-align: center;">有</td> <td style="width:15%; text-align: center;">有</td> <td style="width:10%;">指標番号(活動)</td> <td style="width:10%; text-align: center;">①</td> <td style="width:10%;">指標番号(成果)</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">サービス利用者数</td> <td style="width:15%; text-align: center;">50名以上</td> </tr> <tr> <td>「有」「無」ともに記入</td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td style="text-align: center;">増加</td> <td>推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="8">地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。</td> </tr> </table>						区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名以上	「有」「無」ともに記入			推移	増加	推移				区民ニーズに対する認識	地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。										
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名以上																											
「有」「無」ともに記入			推移	増加	推移																														
区民ニーズに対する認識	地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。																																		
総合評価(D=A+B+C)		ランク3																																	
今後の事業費予算要望(E)		増額	根拠	維持管理に関する経費が増加する見込みのため。																															
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)		A':改善・継続		Dの場合	→ 終了の理由																														
《上記判断を踏まえた所管課の認識》																																			
区有施設ですすでに植樹を実施し、大規模な公園整備も一段落しており、多くの植樹は行えないが、区民に苗木を配布し家庭で育成してもらうことで区内の植樹本数は一定程度増えている。当初の植樹から13年が経過し、生長した樹木の維持管理が課題となるため、維持管理にも力を入れていく必要がある。この取り組みを次世代に伝え、更なる緑化を進めて緑豊かなまちづくりを進めていく。																																			

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0601 - 04

事務事業名	クール・チョイス（COOL CHOICE）推進事業	担当組織	環境清掃部	環境政策課
-------	---------------------------	------	-------	-------

事業特性				
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	
	単独/補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託
事業を構成する予算事業	① クール・チョイス(COOL CHOICE)推進事業			②
	計画/一般	計画事業	計画事業No.	5 - 2 - 1 - 3

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		政策	環境の保全
施策	低炭素地域社会づくりの推進		施策番号	5-2-1 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	省エネ設備の導入支援や「環境庁舎」を拠点とする環境配慮行動の普及啓発などを行うことにより、家庭や事業所における省エネ・節電の取組を促進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	低炭素な製品・サービス・生活行動の選択を促す国民運動「COOL CHOICE」の普及を図り、家庭部門におけるCO2削減行動につなげる。							
	事業概要	PRチラシの配布や啓発イベントの実施を通して、区民に対し生活の中でできるCO2削減行動（クール・チョイス）に関する具体的な情報を提供し、地球温暖化に対する意識を高め、日常生活において発生するCO2の削減を進める。平成29年度に「家庭の省エネ推進事業」を拡充し、事業名を変更した。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	クール・チョイス(COOL CHOICE)とは、温室効果ガスの排出量削減のために、低炭素型の製品・サービス・ライフスタイルを賢く選択（クールなチョイス）していただくという、環境省が推進する国民運動。平成29年4月1日、豊島区もこれを推進することを区長が宣言した。豊島区の家部門の二酸化炭素排出量(平成30年:最新データ) 414千t-CO2 全体の30.9%にあたる。前年比3.3%減。								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① クール・チョイス賛同者数(累計)	↗	人	7,035	7,337	8,000	7,508	8,200
		②							
	③								
	指標の説明	①国は温暖化対策普及のため、個人・企業・団体にクール・チョイスへの賛同の登録を求めている。これに連動して、区民にも温暖化対策になる具体的な行動の普及啓発を行い、賛同用紙への記入を呼びかけている。							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント回数が減ったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	クール・チョイス普及啓発物（普及啓発用エコバック）の作成及び配布 1,000個 エコライフフェアにおける啓発ブースの設置（中止） 消費生活展へのPRブース出展（中止） ファーマーズマーケットへのPRブース出展 環境月間における啓発ポスターの展示 等							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 啓発イベントの実施	↗	回	8	3	6	3	5
		②							
	③								
指標の説明									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントが中止となった。						

2. 事業費の推移									
単位 〔金額の項目:千円〕 〔人数の項目:人〕	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	516	968	595	433	72.8%	595	162	
人件費	【正規(人数)】	(0.70)	(0.58)	—	(0.63)		(0.50)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.23)	—	
人件費 B	B	5,950	4,930	—	5,355		5,078	-277	
事業費(人件費含む)	C=A+B	6,466	5,898	—	5,788		5,673	-115	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	6,466	5,898	—	5,788		5,673	-115	

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	成果指標・活動指標ともに未達成なため。																														
	※前ページの指標の達成状況及び以下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。																																
① 指標に表れない成果																																	
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題																																	
新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での啓発活動が難しくなっている。区民の関心を高める啓発グッズの作成やイベントの実施を行っていく。また、対面での活動が一番効果的ではあるが、対面でない普及啓発方法でいかに伝えていけるかが課題。																																	
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	対面での実施が難しい場合は、状況に応じた実施をしている。																														
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																																
① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td style="width:10%;">有</td> <td style="width:10%;">選択の理由</td> <td style="width:50%;">対面でのイベントは難しくなったが、環境への意識は高まっている。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>いる</td> <td>選択の理由</td> <td>啓発グッズのデザイン等の専門的な部分は委託するなど状況にあった手法で実施している。</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合) 事業者見積りを鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td>いる</td> <td>選択の理由</td> <td>基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td>適正</td> <td>選択の理由</td> <td>執行率が70%台だが、中止したイベントを実施した場合の執行率は100%であるため、適正と考える。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合) 事業名</td> <td></td> </tr> </table>				事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択の理由	対面でのイベントは難しくなったが、環境への意識は高まっている。	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いる	選択の理由	啓発グッズのデザイン等の専門的な部分は委託するなど状況にあった手法で実施している。	(委託の場合) 事業者見積りを鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。	執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率が70%台だが、中止したイベントを実施した場合の執行率は100%であるため、適正と考える。	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名											
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択の理由	対面でのイベントは難しくなったが、環境への意識は高まっている。																														
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いる	選択の理由	啓発グッズのデザイン等の専門的な部分は委託するなど状況にあった手法で実施している。																														
(委託の場合) 事業者見積りを鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	基準に沿って複数者から見積もりを徴収する等している。																														
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率が70%台だが、中止したイベントを実施した場合の執行率は100%であるため、適正と考える。																														
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名																															
② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">過去3年間に改善を行った。</td> <td style="width:15%;">いいえ</td> <td style="width:15%;">はい</td> <td style="width:15%;">取組内容及び効果</td> <td style="width:15%;">予算措置</td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td>改善の予定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td>有</td> <td></td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td></td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td></td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> </table>				過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置		改善の予定	有	無	改善の予定がない理由			改善の内容	有		改善の予定がない理由			改善の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	改善の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由
過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置																													
改善の予定	有	無	改善の予定がない理由																														
改善の内容	有		改善の予定がない理由																														
改善の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																												
改善の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																												
③ 事務改善(事務効率化)の余地																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">効率化の余地</td> <td style="width:15%;">無</td> <td style="width:15%;">無</td> <td style="width:15%;">余地のない理由</td> <td style="width:15%;">イベントや啓発グッズは毎年異なるため</td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td>有</td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td></td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> </table>				効率化の余地	無	無	余地のない理由	イベントや啓発グッズは毎年異なるため		効率化の内容	有		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	効率化の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由												
効率化の余地	無	無	余地のない理由	イベントや啓発グッズは毎年異なるため																													
効率化の内容	有		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																												
効率化の内容			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																												
(3) 必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(C)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	SDGs未来都市として、区民のライフスタイルの転換を促す基礎的な取組であり、自治体が率先して取り組むべき施策である。																														
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区」の他の事業より注力すべき事業または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																
① 区が実施する理由(複数選択可)																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"> <input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。                      ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック                 </td> <td style="width:50%;"> <input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。                 </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。                 </td> <td> <input type="checkbox"/> その他 地球温暖化対策などの環境問題について区民の関心を高める必要があるため。                 </td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。	<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他 地球温暖化対策などの環境問題について区民の関心を高める必要があるため。																										
<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。																																
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他 地球温暖化対策などの環境問題について区民の関心を高める必要があるため。																																
② 区民ニーズ																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">区民ニーズを表す指標</td> <td style="width:15%;">有</td> <td style="width:15%;">有</td> <td style="width:15%;">指標番号(活動)</td> <td style="width:15%;">指標番号(成果)</td> <td style="width:15%;">①</td> <td style="width:15%;">サービス利用者数</td> <td style="width:15%;">50名以上</td> </tr> <tr> <td>「有」「無」ともに記入</td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>推移</td> <td>増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="7">地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。</td> </tr> </table>				区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上	「有」「無」ともに記入			推移	推移	増加			区民ニーズに対する認識	地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。												
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上																										
「有」「無」ともに記入			推移	推移	増加																												
区民ニーズに対する認識	地球温暖化が進む中、環境に関する意識が高まっている。																																
総合評価(D=A+B+C)		ランク3																															
今後の事業費予算要望(E)		現状維持		根拠		継続して、環境に関する慶事を必要があるため。																											
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)		A':改善・継続		Dの場合		→ 終了の理由																											
《上記判断を踏まえた所管課の認識》																																	
地球温暖化が進む中、猛暑や熱中症、世界情勢によるエネルギー不足など、身近な生活にも影響が出ている。区民ひとり一人が身近なところから取り組むことが、重要となっており、引き続き区民への働きかけが重要と考える。																																	



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0601 - 06

事務事業名	生物多様性支援事業	担当組織	環境清掃部	環境政策課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	計画／一般	計画事業
単独／補助	国・都補助 + 区上乗せ事業	運営形態	一部業務委託	計画事業No. 5 - 2 - 2 - 1
事業を構成する予算事業	① 生物多様性支援事業経費		②	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全	
施策	自然との共生の推進	施策番号	5-2-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	生物多様性に関する情報の収集・共有・活用を図り、多様な主体の連携による持続可能な仕組みを構築します			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、区内に生息する生きもの								
	事業の目的・期待する効果	区内の自然環境調査・情報共有・普及啓発を実施することにより、区民の生物多様性の理解が進み、区内の生物多様性が保全されている。								
	事業概要	区有施設における生きものの生育・生息状況を把握するために専門家による生態調査を実施する。 また、区内の自然環境の状況を把握、共有することを目的とした区民参加型生態調査を実施し、収集した情報を多様な主体と共有できる仕組みを構築する。								
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	・「生物多様性」の内容を知っている人の割合 令和元年度 20.1%（内閣府の世論調査） 平成29年度 18.3%（環境に関する区民アンケート調査） ・区有施設におけるビオトープ、池の数 19か所									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 区民参加型調査参加者数	↗	人	192	97	75	100	80	
		② 専門家調査による確認種数	↗	種	422	644	650	599	—	
		③								
	指標の説明	①6月～9月に実施している「としま生きものさがし」の参加者数 ②専門家調査により発見した植物、昆虫類、水生生物、その他小動物の確認種数。								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	令和3年度の調査地が、他の年度で調査した場所よりも面積が狭かったため、確認種数が少なくなった。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	・清和小、池袋第三小、目白小のビオトープにおいて、専門家による生態調査を実施 ・南長崎はらっぱ公園において、専門家による生態調査及び外来生物の駆除を実施 ・区民の自然や生きものへの関心を高めるため、6月～9月を調査期間とする区民参加型調査「としま生きものさがし」を実施 ・環境省の生物情報収集・提供システム「いきものログ」へ生態調査結果の登録 ・専門家調査結果及び区民参加型調査結果の公表								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① ビオトープ管理作業・生態調査	→	回	12	15	15	15	15	
		②								
	③									
	指標の説明	区有施設におけるビオトープの維持管理作業及び区有施設内での生態調査の回数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）	
事業費	A	2,065	2,672	3,267	3,014	92.3%	2,758	-256
人件費	【正規（人数）】	(0.65)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	5,525	8,500	—	8,500		8,500
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,590	11,172	—	11,514		11,258	-256
財源内訳	国、都支出金				1,269			-1,269
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	7,590	11,172	—	10,245		11,258	1,013

3. 総合評価

**【指標の達成状況(A)】**  
S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ **B** 根拠 一部未達成項目があるため

(1) 成果と課題

※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。  
 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。

① 指標に表れない成果

区民参加型生態調査ではリピーターも増え、生物多様性についての意識が徐々に根付いていると考えられる。

② 目標に対する成果状況を踏まえた課題

学校ビオトープは管理が各学校に任せられており、あまり良い状態ではない場所も散見されるため、生きものにとって良い環境が保てるような管理方法をマニュアル等により周知する必要がある。

**【効率的な実施への意識(B)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 業務委託を実施し効率化を図っているものの、普及啓発については更に工夫をする必要があるため。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)

① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識

事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	生物多様性の保全是長期的な取り組みが必要である。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託で行った方が効率的な業務については、すでに委託している。
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	毎年委託内容については見直しをしている。
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率は90%以上である。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名	

② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み

過去3年間に改善を行った。 いいえ はい

取組内容及び効果  予算措置

改善の予定 有 無

改善の予定がない理由

改善の内容 有

専門家でなくてもビオトープの維持管理ができるよう、マニュアルを作成する。  予定時期 未定

「有」の場合 有 無

予算を伴わない実施との比較検討 有 無

予算措置を伴う理由 専門家視点が必要なため

③ 事務改善(事務効率化)の余地

効率化の余地 有 無

余地のない理由

効率化の内容 有

「生物多様性」に関する普及啓発手段の拡充(広報ツールの活用、調査報告書の公開等)  予定時期 令和4年度

「有」の場合 有 無

予算を伴わない実施との比較検討 有 無

予算措置を伴う理由

**【区が実施する必要性(C)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 環境基本計画(生物多様性地域戦略)において、生物多様性の保全のための取り組みが求められている

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

① 区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。
<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input checked="" type="checkbox"/>	その他 環境基本計画(生物多様性地域戦略)において、生物多様性の保全のための取り組みが求められている

② 区民ニーズ

区民ニーズを表す指標 無 有

指標番号(活動)	指標番号(成果)	サービス利用者数
推移	推移	

「有」「無」ともに記入

区民ニーズに対する認識 有

「協働のまちづくりに関する区民意識調査」において、現状評価、今後の優先度ともに、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と回答する区民は徐々に増加している

総合評価(D=A+B+C) **ランク3**

今後の事業費予算要望(E) **増額** 根拠 学校ビオトープ維持管理用マニュアル作成のため

今後の事業の方向性(D+E) **A':改善・継続** Dの場合  終了の理由

《上記判断を踏まえた所管課の認識》

区内にはまとまった緑地や水辺が少なく、学校や公園に創出されたビオトープは生きものが生息する自然環境として貴重な場であり、保全の必要性が高い。そのため、適正に維持管理するための仕組みづくりや、区民への普及啓発を実施することで、区民一人一人が生物多様性への理解・関心を高める必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0602 - 01

事務事業名	路上喫煙・ポイ捨て防止事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	---------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 路上喫煙・ポイ捨て防止事業経費(中分類)		② 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業経費(中分類)	
計画事業No.	5	2	3	1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全	
施策	地域美化の推進【重点】	施策番号	5-2-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち
施策の目標	路上喫煙による火の事故や煙による迷惑を防止するため、パトロールによる注意・指導と啓発活動を実施するとともに、喫煙場所の整備により分煙化を推進します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区民ほか豊島区来訪者								
	事業の目的・期待する効果	豊島区内における路上喫煙・ポイ捨てをなくし、環境美化向上を実現する。								
	事業概要	「路上喫煙及びポイ捨て防止に関する条例」に基づき、啓発・パトロール活動を実施する。パトロールについては業務委託を行い、池袋駅を中心に担当する班、その他地区を担当する班に分け条例違反者への注意・指導を行う。また、啓発・清掃についてはシルバー人材センターに委託し、地域の高齢者雇用及び地域参画の両立を図る。								
基礎データ (事業のための資産・利用者等の情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●路上喫煙・ポイ捨て防止活動の実施状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみゼロウィーク(旧 路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン) 池袋駅前:年1回/JR各駅前:年1回</li> <li>・ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃活動 平日(火・木)及び土日祝日の12:00~15:00</li> </ul> </li> <li>●路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの実施状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・池袋駅周辺 平日(月・水・金):7:00~21:00/土日祝日:10:00~21:00</li> <li>・その他地区 平日(月~金):7:00~19:00</li> </ul> </li> </ul>									
	事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 路上喫煙率	→	%	0.06	0.05	0.05	0.03	0.03	
		② 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	30.8	33.1	33.4	35.1	35.4	
		③								
	指標の説明	①路上喫煙率とは、所定の時間帯に区内全駅前を実施する調査の際、路上喫煙者延べ数/通行者延べ数(成人)により算出した比率 ②「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合とは、「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における当該設問に対し、「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみゼロウィークについては、感染症対策に配慮しつつ、ガム取り機を使用する等新たな取り組みも行った。</li> <li>・ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃については、前年度と同様、平日(火・木)及び土日祝日の12:00~15:00に実施した。</li> <li>・路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールについては、路上喫煙が多い箇所等重点にパトロールを行い、前年度に比べて約18%の指導件数の増加をさせた。</li> </ul>								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① ごみゼロウィーク(旧 路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン)の実施日数	→	日	18	4	9	8	9	
		② 回収した缶・ビン・ペットボトルの本数	↗	本	10,123	52,237	-	51,576	53,000	
		③ パトロールにおける注意・指導件数	→	件	34,006	35,567	-	42,239	42,000	
	指標の説明	①ごみゼロウィーク(旧 路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン)の実施日数とは、区内のJR各駅前において実施した延べ日数 ②回収した缶・ビン・ペットボトルの本数とは、ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃活動において回収した本数 ③パトロールにおける注意・指導件数は、路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール中に路上喫煙者に対し注意・指導を行った延べ件数								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 ごみゼロウィークの実施日数が雨天中止により前年比1日減少し、ポイ捨てゴミの回収が実績値で1.1%減となっているため。							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)		
事業費	A	44,252	51,884	60,543	53,756	88.8%	59,744	5,988	
人件費	【正規(人数)】	(0.85)	(0.85)	—	(0.85)		(0.85)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.44)	—	(0.44)		(0.44)	—	
	人件費B	B	7,225	8,809	—	8,809		8,809	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	51,477	60,693	—	62,565		68,553	5,988	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0		0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0		0	0
	地方債・その他		0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	51,477	60,693	—	62,565		68,553	5,988

3. 総合評価

(1) 成果と課題	【指標の達成状況(A)】 S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒	B	根拠	活動指標が一部未達成のため。
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。			
	①指標に表れない成果 ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃事業に関して、区民等が従事者へ直接、肯定的な意見を伝えたり、道案内等をして感謝された件数(業務報告書より確認)。36件			
②目標に対する成果状況を踏まえた課題 路上喫煙率の調査は、朝と夕に実施している。調査に表れない夜の路上喫煙が課題である。				

(2) 効率的な実施への意識	【効率的な実施への意識(B)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	A	根拠	パトロールの実施時間を増やしたり、効率的なパトロールを行うよう重点地区を設けたりした結果、パトロールの指導件数が増加したため。																												
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																															
	①現状の実施状況及び実施手法に対する認識																															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="2">健康増進法の改正、東京都受動喫煙防止条例施行等により、路上喫煙等の問題が増加しており、必要不可欠となっている。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="2">委託業務の内容を直営で実施した場合、実施時間・日数ともに多いのでコストがより一層必要となる。直営で実施するのは、不可能である。</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="2">一般競争入札による業務委託方式にて事業を実施しているため、コストの削減には努めている。</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td style="text-align: center;">適正</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="2">88.8%の執行率のため、際立って問題があるとは思えないので適正と判断した。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	健康増進法の改正、東京都受動喫煙防止条例施行等により、路上喫煙等の問題が増加しており、必要不可欠となっている。		直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託業務の内容を直営で実施した場合、実施時間・日数ともに多いのでコストがより一層必要となる。直営で実施するのは、不可能である。		(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	一般競争入札による業務委託方式にて事業を実施しているため、コストの削減には努めている。		執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	88.8%の執行率のため、際立って問題があるとは思えないので適正と判断した。		統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名					
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	健康増進法の改正、東京都受動喫煙防止条例施行等により、路上喫煙等の問題が増加しており、必要不可欠となっている。																													
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託業務の内容を直営で実施した場合、実施時間・日数ともに多いのでコストがより一層必要となる。直営で実施するのは、不可能である。																													
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	一般競争入札による業務委託方式にて事業を実施しているため、コストの削減には努めている。																													
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	88.8%の執行率のため、際立って問題があるとは思えないので適正と判断した。																													
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																														
②「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>過去3年間に改善を行った。</td> <td style="text-align: center;">はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>最も路上喫煙の多い池袋駅周辺については、パトロールの実施時間を夜21時まで延長した。</td> <td>予算措置</td> <td style="text-align: center;">有</td> </tr> <tr> <td>改善の予定</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有</td> <td></td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>					過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	最も路上喫煙の多い池袋駅周辺については、パトロールの実施時間を夜21時まで延長した。	予算措置	有	改善の予定	無	無	改善の予定がない理由				改善の内容					予定時期		有			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	
過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	最も路上喫煙の多い池袋駅周辺については、パトロールの実施時間を夜21時まで延長した。	予算措置	有																										
改善の予定	無	無	改善の予定がない理由																													
改善の内容					予定時期																											
有			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																											
③事務改善(事務効率化)の余地																																
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>効率化の余地</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>無</td> <td>余地のない理由</td> <td>履行確認を適宜行っており、適切な業務委託が実施されているため。また、路上喫煙・ポイ捨て防止業務請負については、マニュアルを改定し、実施エリアのメリハリをつけている。</td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有</td> <td></td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>					効率化の余地	無	無	余地のない理由	履行確認を適宜行っており、適切な業務委託が実施されているため。また、路上喫煙・ポイ捨て防止業務請負については、マニュアルを改定し、実施エリアのメリハリをつけている。	効率化の内容					予定時期		有			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由										
効率化の余地	無	無	余地のない理由	履行確認を適宜行っており、適切な業務委託が実施されているため。また、路上喫煙・ポイ捨て防止業務請負については、マニュアルを改定し、実施エリアのメリハリをつけている。																												
効率化の内容					予定時期																											
有			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																											

(3) 必要性/優先度	【区が実施する必要性(C)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	A	根拠	受動喫煙の防止と環境美化の推進に必須の事業であり、他の法令改正等により、より一層区民からのニーズが高まっているため。																								
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																											
	①区が実施する理由(複数選択可)																											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td colspan="2">法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td colspan="2">その他(理由)</td> </tr> </table>					<input type="checkbox"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。		<input type="radio"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	その他(理由)															
<input type="checkbox"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。																									
<input type="radio"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	その他(理由)																									
②区民ニーズ																												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td>有</td> <td>指標番号(活動)</td> <td></td> <td>指標番号(成果)</td> <td></td> <td>サービス利用者数</td> </tr> <tr> <td>「有」「無」ともに記入</td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td></td> <td>推移</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="7">路上喫煙などに関する「区民の声」などの要望は307件あり、行政によるパトロール実施に対するニーズは高い。</td> </tr> </table>					区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)		指標番号(成果)		サービス利用者数	「有」「無」ともに記入			推移		推移			区民ニーズに対する認識	路上喫煙などに関する「区民の声」などの要望は307件あり、行政によるパトロール実施に対するニーズは高い。						
区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)		指標番号(成果)		サービス利用者数																					
「有」「無」ともに記入			推移		推移																							
区民ニーズに対する認識	路上喫煙などに関する「区民の声」などの要望は307件あり、行政によるパトロール実施に対するニーズは高い。																											

総合評価(D=A+B+C)	ランク2		
今後の事業費予算要望(E)	現状維持	根拠	区内における路上喫煙・ポイ捨てを減らし、環境美化向上を実現するために必須事業である。
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A: 現状維持	Dの場合	→ 終了の理由
《上記判断を踏まえた所管課の認識》			

喫煙者而非喫煙者の相互理解を図りながら、区内における喫煙・苦情状況を鑑み、パトロールエリア及びパトロール時間等緻密な体制により引き続き実施していく必要がある。



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0602 - 04

事務事業名	騒音振動対策事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 騒音振動対策経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	環境の保全				
施策	都市公害の防止				施策番号	5-2-4				
施策の目標										

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	・工場等の事業者・建設工事等の請負業者等 ・道路交通や鉄道等の事業者								
	事業の目的・期待する効果	・騒音振動の発生状況調査し、区民へ周知する。 ・騒音振動公害による区民への健康影響を防止する								
	事業概要	・法令に基づく自動車騒音常時監視などの交通騒音・振動に関する調査・監視を行い、区民や事業者へ周知する。 ・工場等及び建設工事による騒音・振動に関し、発生源の調査監視を行うとともに、区民からの苦情や相談に応じて改善指導を行う。								
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場等の事業者：1676件（令和4年4月1日時点）</li> <li>道路交通監視（自動車騒音常時監視）対象路線：24路線</li> <li>鉄道騒音振動調査対象路線：7路線</li> </ul>									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 工事騒音振動苦情受付件数	↘	件	115	163	140	140	135	
		② 自動車騒音の環境基準達成状況（昼間）	→	%	96.7	95.8	97	88.4	95	
	③ 羽田新飛行経路に関する相談件数	↘	件	57	19	15	8	7		
指標の説明	①建設工事等に伴う騒音や振動の苦情受付件数 ②騒音規制法に基づき測定した自動車騒音常時監視測定のうち、昼間における環境基準達成状況 ③羽田空港機能強化に伴う新飛行経路に関する問い合わせや相談の受付件数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 自動車騒音の環境基準達成状況は、交通事情によるものも大きく、測定する路線によっては前年を上回る。								
事業の取組実績	活動指標（事業の実施状況）	3年度の取組内容	○法令に基づく自動車騒音常時監視を含む、道路交通騒音・振動の調査を実施し、HP等にて調査結果を公表。 ○鉄道騒音・振動や航空機騒音の調査を実施し、HP等にて調査結果を公表。 ○法令に基づき工場等の事業者からの認可申請・届出の受付、審査。 ○解体工事現場の立入検査による、騒音振動の発生状況や周辺住民への説明等事前対策の実施状況の確認、指導。 ○中高層集合住宅建築物の新築時の騒音対策に係る事業者との事前協議。 ○騒音・振動に関する苦情処理。							
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 解体工事標識設置届の届出受付件数	→	件	561	425	512	427	471	
	② 解体工事現場の立入検査件数	↗	件	135	117	150	158	360		
③ 自動車騒音の常時監視路線数	→	路線	7	7	5	5	6			
指標の説明	①区要綱に基づき事業者から提出される解体工事標識設置届の受付件数 ②解体工事現場に出向き、騒音振動の発生状況や標識設置状況の確認、是正指導等を行った件数 ③騒音規制法に基づき、自動車騒音の状況を調査測定した路線数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 令和3年度は事業者による解体工事標識設置届出の件数が少なかった								

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 （R3決算比）	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	4,039	3,340	3,425	2,873	83.9%	3,780	907	
人件費	【正規（人数）】	(1.73)	(2.44)	—	(3.11)		(3.52)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.94)	(0.90)	—	(0.92)		(0.93)	—	
	人件費 B	B	18,089	23,980	—	29,747		33,268	3,521
事業費（人件費含む）	C=A+B	22,128	27,320	—	32,620		37,048	4,428	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	22,128	27,320	—	32,620		37,048	4,428	

3. 総合評価

**【指標の達成状況(A)】**  
S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ **B** 根拠 自動車騒音の環境基準は交通事情や測定対象路線によって変動がある。また事業者からの届出も年によって変動がある。一方航空機騒音に関する相談件数は減少している。

※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。  
※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。

(1) 成果と課題

① 指標に表れない成果  
法定調査である自動車騒音常時監視や鉄道騒音・振動、航空機騒音等の環境調査結果の公表で周知を進めていることにより、交通騒音に関する苦情は減少している。

② 目標に対する成果状況を踏まえた課題  
苦情件数は工事件数の増減により変動するが、苦情の防止のため、また苦情発生時には迅速に対応できるよう、立入監視指導や事業者からの届出受理の際の指導や法令周知が重要である。

**【効率的な実施への意識(B)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 立入指導件数を増加して騒音振動苦情対応に努めており、また測定機器の精査などにより予算削減している。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)

(2) 効率的な実施への意識

① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識

事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	当該事務は法定調査や増加する解体工事に伴う苦情に対応する事業である。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	以前直営で調査していた測定も委託にするなど、可能な手法は講じている。
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	一般競争入札による業務委託方式にて事業を実施しているため、コストの削減には努めている。
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率83.9%。主に契約落差による残であり、見積もりをもとに予算を措置しているため、特段問題はない。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名	

② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み

過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	解体工事の立入件数増による指導の強化	予算措置	無
---------------	----	----	----------	--------------------	------	---

改善の予定  無  改善の予定がない理由

いいえ  有

改善の内容	予算措置	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期
-------	------	--------	-----------------	-----------	------

③ 事務改善(事務効率化)の余地

効率化の余地	無	無	余地のない理由	既に講習会受講費用の削減や測定機器の精査による予算削減を行っており、マニュアル整備やOJTなどによる事務効率化も行っている。
--------	---	---	---------	--

効率化の内容  有

効率化の内容	予算措置	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期
--------	------	--------	-----------------	-----------	------

**【区が実施する必要性(C)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 当該事務は、近年増加している解体工事等に伴い発生する騒音振動苦情に対応する事業及び法定調査に関する事務であり、区が実施する必要がある。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※「区他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3) 必要性/優先度

① 区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他(理由)

② 区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	①	③	サービス利用者数	50名以上
「有」「無」ともに記入			推移	推移	高水準で一定	減少		

区民ニーズに対する認識 区直営での航空機騒音測定は、議会で要望を受けて実施し、計測調査している。騒音振動に関する苦情や相談はゼロにはならない。

総合評価(D=A+B+C) **ランク2**

今後の事業費予算要望(E) **現状維持** 根拠 騒音、振動等に対する区民からの苦情や相談に対し、改善指導していくためにも必要である。

今後の事業の方向性(D+E) **A:現状維持** Dの場合 → 終了の理由

《上記判断を踏まえた所管課の認識》

・解体工事や特定建設作業が増加しているが、建設現場パトロールにより解体工事標識の無掲示や無届の特定建設作業の届出指導、騒音振動苦情の未然防止に寄与していく。  
・区独自の航空機騒音の測定方法等の検討や自動車騒音測定計画の見直しを行っている。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0602 - 06

事務事業名	水質土壌汚染・環境放射線調査対策事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	--------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	計画事業No.	5 - 2 - 4 - 2
事業を構成する予算事業	① 水質土壌汚染・環境放射線調査対策経費		②	
一部業務委託				

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全	
施策	都市公害の防止	施策番号	5-2-4	
施策の目標				

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	・区民 ・工場等の事業者等							
	事業の目的・期待する効果	・土壌・地下水汚染公害による区民への健康影響を防止する。 ・地下水質や土壌ダイオキシン、放射線の発生状況について把握して区民へ周知し、区民の不安を解消する。							
	事業概要	・工場等の事業場に対する化学物質の使用状況の監視と対策指導により、土壌・地下水汚染の防止、対策を図る。 ・放射線量が上昇した際に速やかに対応するため、空間放射線量を監視する。 ・土壌中のダイオキシン類を継続的に監視し、区民へ周知する。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	・区民：283,595人（令和4年4月1日時点） ・工場等の事業者：1,676件（令和4年4月1日時点）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 空間放射線量の目標値達成率	→	%	100	100	100	100	100
		② 土壌汚染の確認件数	→	件	0	1	1	2	1
	③ 地下水基準の達成率	↗	%	93.2	93.9	94	97.0	95	
指標の説明	①空間放射線量の調査件数のうち、豊島区放射性物質対策ガイドラインの目標値(0.23 μ Sv/h)以下で会った件数の割合 ②環境確保条例に基づき事業者から提出される土壌汚染調査報告書にて汚染が確認された件数 ③地下水分析項目数のうち、地下水基準以下であった項目の割合								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 土壌汚染の確認件数は、事業者からの届出によるものなので、年によって変動がある。							
事業の取組実績	3年度に実施した具体的な業務内容	○有害物質の取扱量が多い工場等へ立入検査し、溶剤の取り扱いなどの適正管理指導を実施。 ○土壌汚染に関する不動産調査相談に関し、窓口やHP等にて情報提供を実施。 ○有害物質の取り扱いの多い事業場周辺の地下水について水質分析を実施。 ○区内3か所の定点測定施設にて空間放射線量測定を実施し、HP等にて公表。 ○区内1か所にて土壌ダイオキシン類調査を実施し、HP等にて公表 ○法令に基づく届出の審査・指導							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 空間放射線量の調査件数	→	件	36	24	36	36	36
	② 土壌汚染調査報告書の受理件数	→	件	4	4	4	3	4	
	③ 地下水水質分析項目	→	項目	132	99	99	99	99	
指標の説明	①区内3か所における空間放射線量の延べ測定件数。 ②環境確保条例に基づき事業者から提出される土壌汚染調査報告書の受理件数。 ③有害物質取り扱い事業場周辺地下水の水質分析項目数。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	607	534	762	498	65.4%	702	204
人件費	【正規(人数)】	(0.92)	(1.10)	—	(1.18)		(1.43)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.27)	(0.44)	—	(0.52)		(0.51)	—
人件費 B	B	8,792	10,934	—	11,902		13,991	2,089
事業費(人件費含む)	C=A+B	9,399	11,468	—	12,400		14,693	2,293
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	9,399	11,468	—	12,400		14,693	2,293

3. 総合評価

**【指標の達成状況(A)】**  
S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ **B** 根拠 成果指標(土壌汚染確認件数)が一部未達成であった。

(1) 成果と課題

※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。  
 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。

① 指標に表れない成果

土壌汚染対策は、工場等における操業中の漏洩防止等が重要となるため、工場の立入検査による適正管理指導を行っている。  
 土壌ダイオキシン類調査は毎年ポイントを変えて測定を実施しており、環境基準をはるかに下回っている。

② 目標に対する成果状況を踏まえた課題

工場等の事業者に対する土壌汚染対策に関する情報提供や適正管理指導を強化し、継続していく必要がある。  
 放射線量は低位で安定しているので、測定頻度を徐々に減らしている。今後の測定については検討する必要がある。

**【効率的な実施への意識(B)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 放射線測定頻度や地下水測定件数の減少などにより予算削減している。

(2) 効率的な実施への意識

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)

① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識

事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	法令に基づく届出の審査や指導がほとんどである。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	以前直営で調査していた測定も委託にするなど、可能な手法は講じている。
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	一般競争入札による業務委託方式にて事業を実施しているため、コストの削減には努めている。
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率は65.4%。契約落差や修繕が不要であったことによる残であり、委託事業に関しては見積りをもとに予算を措置しており、修繕は機器の突然の故障に対応するため必要なものであり、不適正な範囲ではない。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名	

② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み

過去3年間に改善を行った。  はい  いいえ

はい → 取組内容及び効果 放射線測定頻度の減少、地下水測定件数の減少

予算措置  無

改善の予定  無 → 改善の予定がない理由

いいえ → 改善の内容  有

「有」の場合 → 予算を伴わない実施との比較検討

予算措置を伴う理由

③ 事務改善(事務効率化)の余地

効率化の余地  有  無 → 余地のない理由

有 → 効率化の内容 放射線線量が低位で安定しているので、測定の頻度や地点数を減少することが可能。

予算措置  無

「有」の場合 → 予算を伴わない実施との比較検討

予算措置を伴う理由

予定時期 来年度

**【区が実施する必要性(C)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 法令に基づく事務や、区民の要請を受けて区が行う測定などであり、区が実施する必要がある。

(3) 必要性/優先度

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

① 区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	その他(理由)

② 区民ニーズ

区民ニーズを表す指標  無  有

「有」「無」ともに記入

指標番号(活動)		指標番号(成果)		サービス利用者数
推移		推移		

区民ニーズに対する認識 原発事故以降、区民は放射線に関して敏感になっており、監視は継続する必要がある。また、土壌ダイオキシン測定は、豊島清掃工場建築時に周辺住民より要請を受けて実施している。

総合評価(D=A+B+C) **ランク3**

今後の事業費予算要望(E) **現状維持** 根拠 水質土壌汚染、放射線の発生状況について区民へ周知し、区民の不安を解消するため、また、公害による区民への健康影響を防止するためにも必要である。

今後の事業の方向性(D+E)  
(現状の評価および施策評価を踏まえた評価) **A':改善・継続** Dの場合 → 終了の理由

《上記判断を踏まえた所管課の認識》

工場等の監視指導や調査時に、適切な管理に向けた改善指導、操業時からできる土壌汚染対策の方法や廃止時の土壌汚染調査の必要性等について解説や説明、情報の提供を継続して行う。



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0603 - 01

事務事業名	3R推進啓発事業	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	----------	------	-------	---------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 3R推進啓発事業経費			②
計画事業No.	5	-	3	-
			1	-
				1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	ごみ減量・清掃事業の推進	
施策	3Rの推進【重点】	施策番号	5-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	ごみの発生抑制、使わなくなったものの再利用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	区民の3R (Reduce (リデュース-廃棄物の発生抑制)・Reuse (リユース-再利用)・Recycle (リサイクル-再生利用) の3つのRの総称。)の意識を高め、ごみの減量、環境保全の意識醸成を図る。							
	事業概要	①リサイクル出前講座やイベントを通じた3R推進の啓発 ②リユース食器の貸し出し		③生ごみ処理機購入助成 ④フリーマーケット支援					
基礎データ (事業のための資産) 利用者等の情報	ごみ・リサイクル量								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
		① 年間ごみ量(可燃・不燃・粗大ごみ)	↘	トン	55,992	56,725	54,446	54,416	53,763
		② 区民一人一日当たりのごみ量	↘	グラム	528	541	513	524	505
		③							
	指標の説明	①各種ごみの収集量合計 ②上記「①」÷(10月1日現在人口)÷365日							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等により、ごみの削減量が一般廃棄物処理基本計画策定時よりも鈍化している。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル出前講座の実施 0回</li> <li>・イベント時のブース出展、パネル展、分別ゲームなど 0回</li> <li>・生ごみ処理機活用支援 27件</li> <li>・リユース食器貸出 0枚</li> <li>・フリーマーケットの開催 5回(リサイクルに関するもので区後援名義)</li> </ul>							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
		① リサイクル出前講座の実施	→	回	11	1	14	0	14
		② リユース食器の貸し出し	→	枚	20,293	0	10,000	0	10,000
	③ 生ごみ処理機購入助成制度	→	件	21	24	20	25	20	
	指標の説明	①小学校、保育園、区内イベントにおける、3Rを啓発する出前講座を行った実績数 ②区民ひろば、町会等のイベントで食器を利用する際に環境に配慮したリユース食器の貸し出しの実績数 ③生ごみを肥料化する機器を一般家庭で購入した際の助成件数							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出前講座とリユース食器を使用するイベントの実施がなかったため。					

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	3,671	772	1,727	1,063	61.6%	3,302	2,239
人件費	【正規(人数)】	(0.63)	(0.63)	—	(0.90)		(0.90)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—
人件費B	B	5,355	5,355	—	7,650		7,650	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	9,026	6,127	—	8,713		10,952	2,239
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	9,026	6,127	—	8,713		10,952	2,239

3. 総合評価

(1) 成果と課題

【指標の達成状況(A)】 S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒	B	根拠	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出前講座等啓発事業が実施できなかったため。
※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。			
①指標に表れない成果			
リデュースの意識は生ごみ処理機購入助成制度の需要増より、高まっていることが窺える。			
②目標に対する成果状況を踏まえた課題			
新型コロナウイルス感染症収束後のイベント需要に合わせた事業展開を行う。			

(2) 効率的な実施への意識

【効率的な実施への意識(B)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	B	根拠	パネルやチラシを使い、時世に合わせた範囲で3R活動と食品ロス削減への取り組み紹介を行ったため。			
※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)						
①現状の実施状況及び実施手法に対する認識						
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	フリマアプリの普及により、イベントでのフリーマーケットの需要は薄れているが、スマホを利用できない方や地域交流での目的から事業の必要性			
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	リユース食器の保管・洗浄・貸出をNPOへの委託により実施している。			
(委託の場合)事業者見積を鶏呑みにせずコスト削減に努めている	有	選択の理由	事業者の履行状況を確認し、経費を精査している。			
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出前講座とリユース食器を使用するイベントの実施がなかったが、生ごみ処理機購入助成について一人でも多くの区民が助成を受けられるよう調整を行い実施している。イベントが実施された場合の執行率は100%となるため適正と考える。			
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名				
②「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み						
過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	保育園児向け3R紙芝居の導入	予算措置	無
改善の予定	有	無	改善の予定がない理由			
改善の内容					予定時期	
予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		
③事務改善(事務効率化)の余地						
効率化の余地	無	無	余地のない理由	リユース食器の保管・配送・洗浄を委託により、効率化されているほか、生ごみ処理機購入費助成の申請書類関係をホームページからダウンロード可能にするなどの効率化されているため。		
効率化の内容					予定時期	
予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		

(3) 必要性/優先度

【区が実施する必要性(C)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	B	根拠	3Rの推進は重点施策であり、ごみの減量のため、より一層の普及啓発の必要があるため					
※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。								
①区が実施する理由(複数選択可)								
区民ニーズを 表す指標	有	有	指標番号(活動)	③	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名未満
「有」「無」ともに記入			推移	増加	推移			
区民ニーズに対する認識			事業内では生ごみ処理機購入費助成制度への需要が継続して増えている。					

総合評価(D=A+B+C)	ランク3		
今後の事業費予算要望(E)	増額	根拠	区民のごみの減量、3Rの意識の高まりから、生ごみ処理機購入費助成の需要が多いが、助成を受けられるのは一部の区民のみであるため。
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A':改善・継続	Dの場合	終了の理由
《上記判断を踏まえた所管課の認識》			

ごみの減量には、区民一人ひとりの意識と行動を変えていく必要があり、3Rの推進と啓発は欠かせない。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0603 - 02

事務事業名	集団回収事業	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	--------	------	-------	---------

事業特性				
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	
	単独/補助	区単独事業	運営形態	直営
事業を構成する予算事業	① 集団回収事業経費			②

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		政策	ごみ減量・清掃事業の推進
施策	3Rの推進【重点】		施策番号	5-3-1
施策の目標	ごみの発生抑制、使わなくなったものの再使用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民(町会・自治会等)							
	事業の目的・期待する効果	ごみの減量及び資源の有効活用並びに区民のリサイクル意識の高揚を図る。							
	事業概要	町会、自治会等の実践団体が主体となり、古紙・古布等の資源回収を行う。資源リサイクル運動の推進及び実践団体の活動意欲の高揚を図るため、実践団体に報奨金を支給することにより支援する。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	集団回収実践団体 137団体								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 年間ごみ量(可燃・不燃・粗大)	↘	トン	55,992	56,725	54,446	54,416	53,763
		② 区民一人一日当たりのごみ量(可燃・不燃・粗大)	↘	グラム	528.0	541.0	513.0	524.0	505.0
	③								
指標の説明	①各種ごみの収集量合計 ②上記「①」÷(10月1日現在人口)÷365日								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等により、ごみの削減量が一般廃棄物処理基本計画策定時よりも鈍化している。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	実施団体への報奨金の支給 回収事業者への報奨金の支給 実施団体へ感謝状の贈呈(12月) 5団体 5名							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 実施団体への報奨金の支給	→	千円	14,721	13,040	15,300	12,028	14,850
		② 回収事業者への報奨金の支給	→	千円	0	0	8,608	3,879	8,608
③ 町会清掃担当者との意見交換会	→	回	1	1	1	0	1		
指標の説明	①回収量に応じ6円/kgを支給(段ボールを除く) ②古紙価格の低迷を受け、古紙市況が区の設定した基準価格9円を下回った場合に、3円を上限に回収業者へ支給								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	目標(計画)値は予算額であり上限。新型コロナウイルス感染症の影響等により、集団回収の活動が制限されたことや、報奨金の対象となる新聞の回収量が購読者数の減少などにより減少しているため。						

2. 事業費の推移

単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	15,550	15,249	24,307	16,169	66.5%	23,860	7,691
人件費	【正規(人数)】	(0.35)	(0.35)	—	(0.45)		(0.45)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—
	人件費 B	B	2,975	2,975	—	3,825		3,825
事業費(人件費含む)	C=A+B	18,525	18,224	—	19,994		27,685	7,691
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	18,525	18,224	—	19,994		27,685	7,691

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒		B	根拠	活動指標が未達成なため。																														
	※前ページの指標の達成状況及び以下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。																																		
① 指標に表れない成果																																			
古紙価格暴落の影響から回収事業者の撤退など事業継続が危ぶまれていたが、回収事業者報奨金の支給を開始し事業を継続し、区民のリサイクル意識の高揚を図っている。																																			
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題																																			
町会加入者の減少、高齢化により、各戸からの運搬等が困難になるなどで、集団回収実践団体が減少。古紙価格の暴落及び回収量の減少により、事業者の回収コストが赤字となり、事業の継続が危ぶまれる。																																			
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		A	根拠	古紙の市場価格が暴落し、回収事業者の事業存続が危ぶまれる事態となっているが、継続のため新たに報奨金の支給を開始した。																														
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																																		
① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td style="width:10%;">無</td> <td style="width:10%;">選択の理由</td> <td colspan="3">区の資源回収(行政回収)でも同じ品目を回収しているが、当事業は区民のリサイクル意識の高揚を図る目的から継続して実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>いない</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">当事業は区民(町会、自治会等の実践団体)が主体となり行うものである。</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td>いる</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">古紙の市場価格に応じて支給している事業者報奨金についても上限を設けている。</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td>適正でない</td> <td>選択の理由</td> <td colspan="3">事業費の大部分は報奨金であるが、執行率は回収量に応じるため、決算と社会情勢に応じた予算編成を組むように改善している。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合) 事業名</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	区の資源回収(行政回収)でも同じ品目を回収しているが、当事業は区民のリサイクル意識の高揚を図る目的から継続して実施する必要がある。			直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いない	選択の理由	当事業は区民(町会、自治会等の実践団体)が主体となり行うものである。			(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	古紙の市場価格に応じて支給している事業者報奨金についても上限を設けている。			執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正でない	選択の理由	事業費の大部分は報奨金であるが、執行率は回収量に応じるため、決算と社会情勢に応じた予算編成を組むように改善している。			統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名			
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	区の資源回収(行政回収)でも同じ品目を回収しているが、当事業は区民のリサイクル意識の高揚を図る目的から継続して実施する必要がある。																																
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いない	選択の理由	当事業は区民(町会、自治会等の実践団体)が主体となり行うものである。																																
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	古紙の市場価格に応じて支給している事業者報奨金についても上限を設けている。																																
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正でない	選択の理由	事業費の大部分は報奨金であるが、執行率は回収量に応じるため、決算と社会情勢に応じた予算編成を組むように改善している。																																
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名																																	
② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">過去3年間に改善を行った。</td> <td style="width:15%;">はい</td> <td style="width:15%;">はい</td> <td style="width:15%;">取組内容及び効果</td> <td style="width:15%;">清掃担当者連絡会の実施。事業者報奨金の支給。</td> <td style="width:10%;">予算措置</td> <td style="width:10%;">有</td> </tr> <tr> <td>改善の予定</td> <td>無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> </table>						過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	清掃担当者連絡会の実施。事業者報奨金の支給。	予算措置	有	改善の予定	無	改善の予定がない理由					改善の内容		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期										
過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	清掃担当者連絡会の実施。事業者報奨金の支給。	予算措置	有																													
改善の予定	無	改善の予定がない理由																																	
改善の内容		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期																														
③ 事務改善(事務効率化)の余地																																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">効率化の余地</td> <td style="width:15%;">有</td> <td style="width:15%;">無</td> <td style="width:15%;">余地のない理由</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td>有</td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td>予定時期</td> <td>未定</td> </tr> </table>						効率化の余地	有	無	余地のない理由				効率化の内容	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期	未定																
効率化の余地	有	無	余地のない理由																																
効率化の内容	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期	未定																													

総合評価(D=A+B+C)	ランク3	
今後の事業費予算要望(E)	現状維持	根拠 区民のリサイクル意識向上のために区が支援していく必要性が高い。
今後の事業の方向性(D+E) <small>(現状の評価および施策評価を踏まえた評価)</small>	A':改善・継続	Dの場合 → 終了の理由
《上記判断を踏まえた所管課の認識》		

ごみの減量・リサイクル意識の向上に必要な事業である。高い意識を維持するため、意見交換会や施設見学会等の内容を工夫していく。



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0603 - 03

事務事業名	リサイクルセンター運営	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	-------------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託						
事業を構成する予算事業	① リサイクルセンター運営経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	_3Rの推進【重点】				施策番号	5-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 様々な地域と共生・交流を図り、豊かさを生活を実現できるまち			
施策の目標	ごみの発生抑制、使わなくなったものの再利用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	豊島区に在住、在勤、在学している方										
	事業の目的・期待する効果	一般家庭において不用になった家具等の再利用（リユース）によるごみの減量と区民のリユース意識向上を図る。										
	事業概要	家庭から出された粗大ごみの中から、再利用可能な家具等を簡単な修理・清掃のうえ展示して希望者に抽選で無料提供する。										
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	豊島区北大塚3-29-11 豊島区に在住、在勤、在学している方が対象				開館日：土曜日・日曜日・月曜日 館内整理日：火曜日							
事業目標の達成状況	指標				目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	① 再生品あっせん率				↗	%	75.1	84.3	90	81.7	90
		② 来場者数				↗	人	8,391	5,797	10,000	5,542	8,000
		③ 年間ごみ量（可燃・不燃・粗大ごみ）				↘	トン	55,992	56,725	54,446	54,416	53,763
指標の説明		①あっせん率：あっせん成立点数／展示点数 ③各種ごみの収集量合計										
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	粗大ごみ収集の段階で木製家具などは破碎されてしまい、展示品の種類が少なくなっているため。令和2年4月8日～6月5日、令和3年4月25日～6月4日 緊急事態宣言による休館									
事業の取組実績	3年度の取組内容		3年度に実施した具体的な業務内容 年間136日開館、5,542人来場。粗大ごみ868点搬入。うち842点展示、688点をあっせんした。									
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>				目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 再生品展示数				↗	点	1,150	810	1,500	842	1,000	
	②											
③												
指標の説明												
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	粗大ごみ選別の段階で再利用できる家具が少なくなっており、それに伴い搬入・あっせん品が減少。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため令和2年4月8日～6月5日、令和3年4月25日～6月4日 休館									

2. 事業費の推移

単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	5,912	5,735	6,184	5,768	93.3%	14,300	8,532
人件費	【正規(人数)】	(0.15)	(0.15)	—	(0.13)		(0.13)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.70)	(0.70)	—	(0.70)		(0.70)	—
	人件費 B	B	3,795	3,795	—	3,625		3,625
事業費(人件費含む)	C=A+B	9,707	9,530	—	9,393		17,925	8,532
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	9,707	9,530	—	9,393		17,925	8,532



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0603 - 06

事務事業名	不燃ごみ資源化	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	---------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	30年度		事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5 - 3 - 1 - 4	
	単独／補助	区単独事業		運営形態	全部業務委託					
事業を構成する予算事業	① 不燃ごみ資源化事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進			
施策	安定的で適正なごみ処理の推進				施策番号	5-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民、最終埋立処分場							
	事業の目的・期待する効果	最終埋立処分場の延命と、環境負荷の軽減に寄与する。							
	事業概要	区内のごみ集積所に排出される不燃ごみを、民間リサイクル工場に搬入し、選別・資源化する。							
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	東京湾への埋立は昭和2年から始まり、江東区潮見、夢の島、若洲、中央防波堤内側埋立地、中央防波堤外側埋立処分場、羽田沖、新海面処分場と埋立地を広げてきた。現在、埋立作業が行われている新海面処分場が23区最後の埋立処分場で、残余年数は50年といわれている。								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 不燃ごみ処理センター搬入量	↘	t	166	167	166	141	162
		②							
	③								
指標の説明	資源化することのできなかった残渣を不燃ごみ処理センターに搬入し、最終埋立処分場で埋立している。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内全域から排出される不燃ごみの資源化を実施した。</li> <li>不燃ごみ収集量（区全域） 1,501.65t</li> <li>うち不燃ごみ選別工場搬入量 1,491.86t</li> <li>資源化実施量 1,360.967t</li> </ul>							
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 資源化率	→	%	90.13	90.13	90	91.23	90
		② 不燃ごみ選別工場搬入量	↘	t	1,682	1,688	1,850	1,492	1,618
	③								
指標の説明	①資源化率…資源化実施量/不燃ごみ選別工場搬入量×100 ②区内で収集された不燃ごみのうち、選別工場に搬入された量。ほぼ収集量と等しいが、搬入量は他区と案分で算出しているため、誤差が生じる。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 <small>（R3決算比）</small>
事業費	A	101,856	115,414	133,233	105,673	79.3%	137,836	32,163
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.10)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		850
事業費（人件費含む）	C=A+B	104,406	117,964	—	108,223		138,686	30,463
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料							0
	地方債・その他	D	4,674	2,707	3,750	6,871		3,750
一般財源	E=C-D	99,732	115,257	—	101,352		134,936	33,584

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒		A	根拠	成果指標及び活動指標ともに目標を達成している。		
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。						
① 指標に表れない成果							
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題							
ごみ減量を推進しつつ、資源量を維持していく必要がある。							
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	3区合同で民間事業者処理を委託するなど効率化を進めている		
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)						
① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識							
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。		無	選択の理由	平成30年度から開始した事業であり、環境負荷軽減のために継続して取り組む必要がある。			
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。		有	選択の理由	3区合同で民間事業者処理を委託するなど効率化を進めている			
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。		有	選択の理由	委託業者とは価格交渉を実施している			
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。		適正	選択の理由	執行率は約80%である。ごみ量の増減は想定が困難であるため、適正であると考える。			
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。		無	(有の場合) 事業名				
② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み							
過去3年間に改善を行った。		いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置		
改善の予定		無	無	改善の予定がない理由	目標も達成しており、現状を維持していきたい		
改善の有		有		改善の内容	予算措置	予定時期	
			「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		
③ 事務改善(事務効率化)の余地							
効率化の余地		有	無	余地のない理由			
効率化の内容		執行率をさらに上げるため、適正な予算を計上していく。				予定時期	
改善の有		有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		
(3) 必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(C)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	ごみの回収、及び最終処分場の延命など、区が実施する必要性が高い。		
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。						
① 区が実施する理由(複数選択可)							
○ 区民ニーズ		区民ニーズを 表す指標		無	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)
○ 区民ニーズ		民間事業者等に同様のサービスがない。		「有」「無」 ともに記入		推移	サービス利用者数
○ 区民ニーズ		区民ニーズに対する認識		最終処分場の延命は区民にとってもメリットがある。			
○ 区民ニーズ		区民ニーズを 表す指標		最終処分場の延命は区民にとってもメリットがある。			
② 区民ニーズ							
最終処分場の延命は区民にとってもメリットがある。							
総合評価(D=A+B+C)		ランク3					
今後の事業費予算要望(E)		現状維持		根拠	持ち込まれる資源量が大きく増える見込みはないため		
今後の事業の方向性(D+E) <small>(現状の評価および施策評価を踏まえた評価)</small>		A':改善・継続		Dの場合	→ 終了の理由		
《上記判断を踏まえた所管課の認識》							
引き続き高い資源化率を維持し、最終処分場の延命に貢献していく。							



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0603 - 13

事務事業名	共同処理運営事業	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	----------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 共同処理運営経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	安定的で適正なごみ処理の推進				施策番号	5-3-2		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標		
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民									
	事業の目的・期待する効果	ごみ焼却等の中間処理の安定的な実施 粗大ごみ申告受付の円滑な実施									
	事業概要	東京二十三区清掃一部事務組合、東京二十三区清掃協議会への分担金支出 粗大ごみ受付業務委託									
基礎データ <small>（事業のための資産利用者等の情報）</small>	ごみ・リサイクル量										
事業目標の達成状況	成果指標 <small>（事業目標の達成度）</small>	指標			目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 年間ごみ量（可燃・不燃・粗大）		↓	トン	55,992	56,725	54,446	54,416	53,763	
		② 区民一人一日当たりのごみ量（可燃・不燃・粗大）		↓	グラム	528	541	513	524	505	
		③									
	指標の説明	①各種ごみの収集量合計 ②上記「①」÷（10月1日現在人口）÷365日									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等により、ごみの削減量が一般廃棄物処理基本計画策定時よりも鈍化している。								
事業の取組実績	3年度の取組内容	①東京二十三区清掃一部事務組合設置による共同処理 ・可燃ごみの焼却施設の整備及び管理運営、その他破碎ごみ処理・灰溶融施設等の運営管理等 ②東京二十三区清掃協議会設置による共同処理 ・廃棄物収集・運搬の請負契約等、一般廃棄物処理業・浄化槽清掃業の許可に関する業務 ③粗大ごみ受付業務の共同処理（東京都環境整備公社）									
	活動指標 <small>（事業の実施状況）</small>	指標			目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 粗大ごみ申告受付件数（電話）		↓	件	63,235	43,198	45,000	44,078	45,000	
		② 粗大ごみ申告受付件数（インターネット）		↑	件	163,541	232,592	235,000	227,548	235,000	
		③									
指標の説明	①②粗大ごみ受付センターにおいて受け付けた件数										
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由									

2. 事業費の推移

単位 <small>（金額の項目：千円 人数の項目：人）</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 <small>（R3決算比）</small>
事業費	A	1,111,051	1,164,385	1,232,985	1,231,229	99.9%	1,312,101	80,872
人件費	【正規（人数）】	(0.80)	(0.80)	—	(0.23)		(0.23)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—
	人件費 B	B	6,800	6,800	—	1,955		1,955
事業費（人件費含む）	C=A+B	1,117,851	1,171,185	—	1,233,184		1,314,056	80,872
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	1,117,851	1,171,185	—	1,233,184		1,314,056

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	ごみ焼却等の中間処理や統一事項の連絡調整は、23区共同で適正に運営している。																																										
	※前ページの指標の達成状況及び以下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。																																												
	① 指標に表れない成果 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>																																												
	② 目標に対する成果状況を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生による粗大ごみ受付センターの縮小により、電話の応答率が低下した。感染症蔓延時等の事業継続の課題が浮き彫りになった。																																												
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	新たな粗大ごみ受付センターを構築し、区民サービス向上を図るため																																										
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																																												
	① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td style="width:10%;">有</td> <td style="width:10%;">選択の理由</td> <td style="width:50%;">東京都環境公社のシステムは老朽化・複雑化し、DX化が図れず、再構築には莫大な経費が想定される。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>いる</td> <td>選択の理由</td> <td>粗大ごみ受付センターの管理運営は14区共同運営で委託している</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合) 事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td>いる</td> <td>選択の理由</td> <td>次年度の見積に対しては内容について精査し、共同運営区の課長会で承認が必要である</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td>適正</td> <td>選択の理由</td> <td>執行率99.9%</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合) 事業名</td> <td></td> </tr> </table>	事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択の理由	東京都環境公社のシステムは老朽化・複雑化し、DX化が図れず、再構築には莫大な経費が想定される。	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いる	選択の理由	粗大ごみ受付センターの管理運営は14区共同運営で委託している	(委託の場合) 事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	次年度の見積に対しては内容について精査し、共同運営区の課長会で承認が必要である	執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率99.9%	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名																									
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択の理由	東京都環境公社のシステムは老朽化・複雑化し、DX化が図れず、再構築には莫大な経費が想定される。																																										
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いる	選択の理由	粗大ごみ受付センターの管理運営は14区共同運営で委託している																																										
(委託の場合) 事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	いる	選択の理由	次年度の見積に対しては内容について精査し、共同運営区の課長会で承認が必要である																																										
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率99.9%																																										
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名																																											
	② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">過去3年間に改善を行った。</td> <td style="width:15%;">いいえ</td> <td style="width:15%;">はい</td> <td style="width:20%;">取組内容及び効果</td> <td style="width:15%;">予算措置</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>改善の予定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>いいえ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>改善の内容</td> <td>新たな粗大ごみ受付センターの構築</td> <td>予定時期</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>予算措置</td> <td>有</td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無</td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td>直営での実施はよりコストがかかるため</td> </tr> </table>			過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置									改善の予定	有	無	改善の予定がない理由			いいえ						有	改善の内容	新たな粗大ごみ受付センターの構築	予定時期	令和4年度			予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討				無	予算措置を伴う理由	直営での実施はよりコストがかかるため
過去3年間に改善を行った。	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置																																									
	改善の予定	有	無	改善の予定がない理由																																									
	いいえ																																												
	有	改善の内容	新たな粗大ごみ受付センターの構築	予定時期	令和4年度																																								
		予算措置	有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討																																								
			無	予算措置を伴う理由	直営での実施はよりコストがかかるため																																								
	③ 事務改善(事務効率化)の余地																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">効率化の余地</td> <td style="width:15%;">無</td> <td style="width:15%;">無</td> <td style="width:20%;">余地のない理由</td> <td style="width:35%;">23区で共同運営しているため</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>効率化の内容</td> <td></td> <td></td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>予算措置</td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> </table>			効率化の余地	無	無	余地のない理由	23区で共同運営しているため							効率化の内容			予定時期			有	予算措置	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																				
効率化の余地	無	無	余地のない理由	23区で共同運営しているため																																									
	効率化の内容			予定時期																																									
	有	予算措置	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																																								
(3) 必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(C)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	根拠	区には一般廃棄物処理責任があるため																																										
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																												
	① 区が実施する理由(複数選択可)																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"><input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td style="width:50%;"><input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td><input type="checkbox"/> その他(理由)</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。	<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他(理由)																																						
<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。																																												
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他(理由)																																												
	② 区民ニーズ																																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">区民ニーズを表す指標</td> <td style="width:15%;">有</td> <td style="width:15%;">有</td> <td style="width:10%;">指標番号(活動)</td> <td style="width:10%;">①</td> <td style="width:10%;">②</td> <td style="width:10%;">指標番号(成果)</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">サービス利用者数</td> <td style="width:10%;">50名以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td>推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="7">                 「有」「無」ともに記入                  区民ニーズに対する認識 生活様式や生活スタイルの変化が起きており、粗大ごみの排出量は増加傾向である             </td> </tr> </table>			区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	②	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名以上				推移	増加	増加	推移							「有」「無」ともに記入 区民ニーズに対する認識 生活様式や生活スタイルの変化が起きており、粗大ごみの排出量は増加傾向である																		
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	②	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名以上																																				
			推移	増加	増加	推移																																							
			「有」「無」ともに記入 区民ニーズに対する認識 生活様式や生活スタイルの変化が起きており、粗大ごみの排出量は増加傾向である																																										
総合評価(D=A+B+C)		ランク3																																											
今後の事業費予算要望(E)		増額		根拠	新たな粗大ごみ受付センターを構築するため																																								
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)		A':改善・継続		Dの場合	→ 終了の理由																																								
《上記判断を踏まえた所管課の認識》																																													
生活様式の変化が起きており、粗大ごみの申込件数は増加傾向であり、収集件数・個数も前年度より上回っている。区民サービス向上のために、粗大ごみ受付業務の効率化とDX化を進める必要がある。																																													

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0604 - 02

事務事業名	職員安全・衛生対策	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	-----------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5	3	2	1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託							
事業を構成する予算事業	①	職員安全・衛生対策経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	安定的で適正なごみ処理の推進				施策番号	5-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	豊島清掃事務所職員（作業Ⅲ、自動車運転Ⅱ、自動車整備、一般事務、会計年度任用職員）							
	事業の目的・期待する効果	労働災害、交通事故の発生防止・抑制による安定したごみ収集体制の維持							
	事業概要	安全衛生委員会の運営、作業用被服・保護具の支給貸与、各種講習会の実施							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	【豊島清掃事務所職員（令和4年4月1日現在）】 正規職員（再任用職員20名含）101名、会計年度任用職員23名、人材派遣職員1名 計125名								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 公務災害（労働災害）件数	↘	件	4	5	4	3	3
		② 交通事故件数	↘	件	8	0	4	4	3
	③								
指標の説明	①年度内に発生した公務災害件数 ②年度内に発生した交通事故件数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全衛生委員会の8月を除く毎月実施</li> <li>収集作業員、運転手、自動車整備、会計年度任用職員への作業用被服・保護具の貸与</li> <li>腰痛予防講習会及び安全運転講習会の開催はコロナ禍で中止</li> </ul>							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 安全衛生委員会	→	回	11	11	11	11	11
		② 腰痛予防講習会	→	回	8	4	4	0	4
③ 安全運転講習会	→	回	2	0	2	0	2		
指標の説明	①年度内の安全衛生委員会開催数、②年度内の腰痛予防講習会開催数、③年度内の安全運転講習会開催数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 コロナ禍で講習会の講師派遣を受けられなかったため。							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 （R3決算比）	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	10,182	10,349	10,496	10,270	97.8%	10,338	68	
人件費	【正規（人数）】	(1.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	8,500	8,500	—	8,500		8,500	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	18,682	18,849	—	18,770		18,838	68	
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0		0	0	
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0	
一般財源	E=C-D	18,682	18,849	—	18,770		18,838	68	

3. 総合評価

(1) 成果と課題	<b>【指標の達成状況(A)】</b> S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ <b>B</b>	根拠	コロナ禍で一部の講習会が中止となったため。	
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。			
① 指標に表れない成果				
法に定める安全衛生委員会の運営を中心に、職員の作業の安全のみならず、区民への影響等も考慮して労使で現実的な対策を講じている。				
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題				
公務災害、交通事故とも発生することのないよう努力しているが、労働負荷の高い職場のため、どちらも段階的に減少させるよう目標を設定せざるを得ない中で目標達成である。常に発生状況が異なるので、その全てを事務所全体で共有し取組みを継続する。				
(2) 効率的な実施への意識	<b>【効率的な実施への意識(B)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <b>B</b>	根拠	産業医も参加する安全衛生委員会を有効に活用し、各種事業の必要性と実施方法を常に検討している。	
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)			
	① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識			
	事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	従来から必要最小限の事業を行っており、またコロナ禍において職員の感染予防対策に直結する事業となっている。
	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	労働安全コンサルタントへの一部委託も考えられるが大幅な事業予算増と業務の複雑化につながる。また、被服や保護員の購入・保管・貸与は直営で行えない。
	(委託の場合) 事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	人事課の委託料を参考に産業医と委託契約し、また被服・保護員購入は入札である。
	執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率は90%台後半で推移している。
	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名	
	② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み			
	過去3年間に改善を行った。	はい	取組内容及び効果	交通事故根絶に向けて、令和元年度から池袋警察署を招き交通安全講習会を実施している。
改善の予定	無	改善の予定がない理由		
改善の内容		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	
予算措置		「有」の場合	予算措置を伴う理由	
③ 事務改善(事務効率化)の余地				
効率化の余地	無	余地のない理由	最少人員で必要最小限の事業のみを行っている。	
効率化の内容		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	
予算措置		「有」の場合	予算措置を伴う理由	
(3) 必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(C)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ <b>B</b>	根拠	労働安全衛生法に基づく事業である。	
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。			
	① 区が実施する理由(複数選択可)			
	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="radio"/> 法律の要請を受けて行う事業である。 <input type="radio"/> その他 法定項目に加え、収集運搬作業に必要な安全衛生管理を実施する。		
② 区民ニーズ				
区民ニーズを表す指標	無	指標番号(活動)	指標番号(成果)	
「有」「無」ともに記入		推移	推移	
区民ニーズに対する認識	職員の安全・健康を適切に管理することで、ごみの収集をはじめ清掃事業への満足度も高まる。			
総合評価(D=A+B+C)	ランク3			
今後の事業費予算要望(E)	現状維持	根拠	今後も必要最小限の事業を継続する。	
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A': 改善・継続	Dの場合	終了の理由	
《上記判断を踏まえた所管課の認識》				
豊島清掃事務所は、労働安全衛生法に基づき安全委員会及び衛生委員会の設置を義務付けられており、継続して労働災害や交通事故の防止に取り組んでいかなければならない。				



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 O604 - 06

事務事業名	不法投棄対策事業	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	----------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5	3	2	1
	単独／補助	区単独事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 不法投棄対策事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	安定的で適正なごみ処理の推進				施策番号	5-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。									

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	集積所上の不法投棄物							
	事業の目的・期待する効果	不法投棄の予防及び再発防止により、集積所の適正利用と美観の向上を図る。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロールを実施し、不法投棄物の調査及び警告後の回収を行う。</li> <li>・集積所の適正利用を周知し再発を防止する。</li> </ul>							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	①住民登録者数(年度末現在⇨翌年度4月1日現在) 元年度:289,776人、2年度:286,596人、3年度:283,595人 ②集積所数(令和4年4月1日現在) 一般集積所:6,795ヶ所、個別集積所:14,993ヶ所、その他大規模集積所等:1,140ヶ所 計22,928ヶ所								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	↗	満足度が高い(%)	55	57.2	58	62.2	63
		② 不法投棄回収件数の住民登録者数における割合	↘	%	1.26	1.5	1.4	1.69	1.5
	指標の説明	①「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」の項目に対して「どちらかというと思う」と回答した数値(2年度までは「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」の項目に同様に回答した数値) ②不法投棄物の回収件数を住民登録者数で除した不法投棄率							
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	コロナ禍における粗大ごみの増加とともに、不法投棄も増加し回収件数が増加した。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回パトロールの日曜日を除く毎日実施</li> <li>・不法投棄物の調査と警告後の回収</li> </ul>							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 不法投棄物回収件数	↘	件	3,680	4,303	4,250	4,793	4,300
		②							
指標の説明	①不法投棄物の回収件数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	粗大ごみの収集件数増加に伴い不法投棄も増加している。これは粗大ごみ収集の待ち日数が1か月程度まで伸びていることと関連があると思われる。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	833	1,142	1,620	869	53.6%	1,620	751	
人件費	【正規(人数)】	(3.00)	(3.00)	—	(3.00)		(3.00)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	25,500	25,500	—	25,500		25,500	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	26,333	26,642	—	26,369		27,120	751	
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0		0	0	
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0	
一般財源	E=C-D	26,333	26,642	—	26,369		27,120	751	

3. 総合評価

(1) 成果と課題	【指標の達成状況(A)】 S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒		B	根拠	不法投棄は増加しているが、対策により区民の満足度は高まっている。
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。				
	① 指標に表れない成果				
	② 目標に対する成果状況を踏まえた課題				
	夜間や早朝の投棄が多く、また、駐車場や工場協等の人目につかない集積所が不法投棄の温床となっている。即効性のある対策として、粗大ごみ収集の待ち日数短縮が必要である。				
(2) 効率的な実施への意識	【効率的な実施への意識(B)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		A	根拠	不法投棄の発生した集積所の調査・警告は直営で行い、令和元年度から回収の一部で雇上のごみ収集作業用車両も活用している。
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)				
	① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識				
	事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	減少傾向だった不法投棄がコロナ禍で増加に転じた。	
	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	調査・警告は直営、回収の一部はごみ収集の雇上車両も活用している。	
	(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。		選択の理由		
	執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正でない	選択の理由	回収した不法投棄物の産廃処理費用が当初見込みを下回ったため、決算状況を踏まえ予算を減額する。	
	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名		
	② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み				
	過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	一部の不法投棄物回収について雇上のごみ収集作業用車両も活用
	改善の予定	無	無	改善の予定がない理由	
	改善の内容		有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討
	予算措置		有	「有」の場合	予算措置を伴う理由
	③ 事務改善(事務効率化)の余地				
	効率化の余地	無	無	余地のない理由	調査・警告は直営、回収の一部は雇上のごみ収集作業用車両も活用し効率的に実施している。
	効率化の内容		有	「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討
	予算措置		有	「有」の場合	予算措置を伴う理由
(3) 必要性/優先度	【区が実施する必要性(C)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	不法投棄を抑制し、公衆衛生を保全する。
	① 区が実施する理由(複数選択可)				
	<input type="radio"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。		
	<input type="radio"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)		
	② 区民ニーズ				
	区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)
	「有」「無」ともに記入		有	推移	推移
	区民ニーズに対する認識		有	増加	サービス利用者数
			有	増加	50名以上
	不法投棄の予防・再発防止による公衆衛生と美観の維持は、住民からきれいな街として認識される。				
総合評価(D=A+B+C)		ランク3			
今後の事業費予算要望(E)		現状維持	根拠	回収した不法投棄物の産廃処理費用が予算の大部分を占めており、処理困難物発生時の想定・予算化の必要性は継続している。	
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)		A':改善・継続		Dの場合 → 終了の理由	
《上記判断を踏まえた所管課の認識》					
不法投棄の発生を未然に防止するのが最善だが、本事業は主として発生後の対応となる。不法投棄が常態化すると集積所の適正利用が妨げられ分別意欲が低下し、また、ルールを守らない住民が存在することで地域の治安にも影響を及ぼす。不法投棄を防止するにはごみ減量推進課と連携したごみの適正排出の住民・事業者への啓発、周知が不可欠であり、区として注力していく。					

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0604 - 07

事務事業名	廃棄物排出指導業務	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	-----------	------	-------	---------

事業特性								
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5 - 3 - 2 - 1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営				
事業を構成する予算事業	① 廃棄物排出指導業務経費				②			

政策体系（令和3年度基本計画）							
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち			政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
施策	安定的で適正なごみ処理の推進			施策番号	5-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標		
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。						

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	家庭廃棄物の分別ルールや排出マナーの遵守とまちの衛生と美観の保持を目的として、行政指導・助言・啓発活動を行う。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別、排出ルールの啓発</li> <li>・不適正排出者への指導</li> <li>・集積所の廃止、分散、移設の対応、調整等</li> </ul>							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	①住民登録者数(年度末現在≡翌年度4月1日現在) 元年度:289,776人、2年度:286,596人、3年度:283,595人 ②集積所数(令和4年4月1日現在) 一般集積所:6,795ヶ所、個別集積所:14,993ヶ所、その他大規模集積所等:1,140ヶ所 計22,928ヶ所								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	↗	満足度が高い(%)	55	57.2	58	62.2	63
		②							
		③							
	指標の説明	①「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」の項目に対して「どちらかというと思う」と回答した数値(2年度までは「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」の項目に同様に回答した数値)							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別・排出ルールの啓発</li> <li>・不適正排出者への行政指導</li> <li>・集積所の廃止・分散・移設の対応・調整</li> <li>・集積所問題の解決を目的とした青空集会の開催</li> <li>・ごみ減量推進課開催出前講座(小学校等での環境学習)への協力</li> </ul>							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 集積所改善件数	→	件	212	129	130	136	130
		②							
	③								
	指標の説明	①区民から集積所に排出されるごみの未分別、不適正排出等の相談があり、排出指導や集積所の廃止・分散・移設等の調整により改善した件数							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)	
事業費	A	1,212	1,407	1,331	954	71.7%	1,257	303
人件費	【正規(人数)】	(5.00)	(5.00)	—	(5.00)		(5.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	42,500	42,500	—	42,500		42,500
事業費(人件費含む)	C=A+B	43,712	43,907	—	43,454		43,757	303
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	43,712	43,907	—	43,454		43,757

3. 総合評価

**【指標の達成状況(A)】**  
S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒ **A** 根拠 分別排出ルールの指導や集積所の課題を解決し、住民の満足度は高まっている。

(1) 成果と課題

※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。  
 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。

① 指標に表れない成果

② 目標に対する成果状況を踏まえた課題

区内は狭小道路が多く清掃車両が通行できない場所が多いため、廃止・分散等による改善ができない集積所が多い。

**【効率的な実施への意識(B)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 地域・町会とともに解決している。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)

① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識

事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	個別の事案に地域とともに解決を図っている。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	いない	選択の理由	住民のごみに対する課題をケースワークにより解決する業務を請負える業者はない。
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。		選択の理由	
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正でない	選択の理由	執行率の低い経費は削減する。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合) 事業名	

② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み

過去3年間に改善を行った。  いいえ  はい

取組内容及び効果  予算措置

改善の予定  有  無

改善の予定がない理由

改善の内容 執行率の低い経費を削減する。 予定時期 令和4年度

「有」の場合 予算を伴わない実施との比較検討 予算措置を伴う理由

③ 事務改善(事務効率化)の余地

効率化の余地  無  有

余地のない理由 集積所個別の懸案に対して、地域とともに解決を図るケースワーク的業務のため直営体制で事業を継続する。

効率化の内容  予定時期

「有」の場合 予算を伴わない実施との比較検討 予算措置を伴う理由

**【区が実施する必要性(C)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 住民の適正排出を推進するために行政による指導・助言・調整が不可欠である。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

① 区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由) <input type="text"/>

② 区民ニーズ

区民ニーズを表す指標  有  有

指標番号(活動)	指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上
推移	推移	増加		

「有」「無」ともに記入

区民ニーズに対する認識 家庭ごみの集積所への排出と行政による収集運搬は全国自治体で必須のシステムであり、集積所の課題解決の要望が絶えることはない。

総合評価(D=A+B+C) **ランク3**

今後の事業費予算要望(E) **現状維持** 根拠 廃棄物の排出指導業務であり、事業費より人件費の割合が高い。

今後の事業の方向性(D+E) **A':改善・継続** Dの場合 → 終了の理由

《上記判断を踏まえた所管課の認識》

集積所設置主体である住民の生活様式の多様化や単身世帯、外国籍住民の増加等により住民間の関係が希薄化し相談内容が複雑化しているため、解決に困難を極める場合もあるが地域とともに解決を図っていく。



令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【A表】

事業整理番号 0604 - 09

事務事業名	池袋繁華街カラス被害防止対策事業	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	------------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5	3	2	1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託							
事業を構成する予算事業	① 池袋繁華街カラス被害防止対策事業費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	安定的で適正なごみ処理の推進				施策番号	5-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。									

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	池袋繁華街（池袋駅周辺地域）のごみ集積所を利用する事業者								
	事業の目的・期待する効果	集積所のカラス被害を抑制し地域の美観向上を図る。								
	事業概要	カラス被害を受けたごみの整理、被害集積所の清掃、防鳥ネットを用いた被害抑制、排出事業者への適正排出協力依頼等により池袋駅周辺地域におけるカラス被害を防止・抑制する。								
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	池袋繁華街（池袋駅前地域）の集積所512か所（令和4年4月1日現在）									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	↗	満足度が高い(%)	55	57.2	58	62.2	63	
		②								
	③									
指標の説明	①「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」の項目に対して「どちらかというと思う」と回答した数値（2年度までは「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」の項目に同様に回答した数値）									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容（3年度に実施した具体的な業務内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>池袋繁華街（池袋駅周辺地域）集積所の早朝パトロール</li> <li>カラス被害の状況確認と記録及び袋の詰め替え、カラス被害状況の調査</li> <li>恒常的にカラス被害のあるごみ集積所のブラッシング清掃</li> <li>カラス被害の発生している集積所を利用する事業者への協力依頼</li> </ul>								
		活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
			① 集積所被害件数	↘	件	828	1,135	1,100	1,023	1,000
	② 改善協力訪問件数		↘	件	—	21	20	19	20	
③										
指標の説明	①カラスの活動が活発な4月から10月にかけて、毎週月曜日から土曜日の早朝にごみ集積所を巡回し被害を確認した集積所の件数 ②ごみが散乱するカラス被害の生じた集積所を使用している事業所に、状況を知らせて啓発・協力依頼を行った件数（事業所数）									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	5,458	6,391	6,824	6,584	96.5%	6,824	240	
人件費	【正規（人数）】	(1.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	8,500	8,500	—	8,500		8,500	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	13,958	14,891	—	15,084		15,324	240	
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0	
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0	
一般財源	E=C-D	13,958	14,891	—	15,084		15,324	240	

3. 総合評価

(1) 成果と課題	【指標の達成状況(A)】 S、A、B、C、Dの5段階で評価 ⇒		A	根拠	事業を計画通りに実施し、成果目標を達成した。																												
	※前ページの指標の達成状況及び下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「A」評価は、成果指標及び活動指標の両方が目標以上達成であることを基準として、「指標に表れない成果」を加味して評価してください。 ※「A」評価のレベルを大幅に超えた場合のみ「S」評価としてください。「指標に表れない成果」も考慮の対象です。																																
① 指標に表れない成果																																	
カラス被害で汚れた集積所を清掃することにより、害虫等の発生を抑制し公衆衛生の保全にも寄与している。																																	
② 目標に対する成果状況を踏まえた課題																																	
池袋駅周辺は、飲食店が多くカラス被害が起きやすい状況がある。また、店舗の入れ替わりが頻繁で継続的な対策が必要となる。																																	
(2) 効率的な実施への意識	【効率的な実施への意識(B)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	令和2年度から事業者訪問を行っており、今後も啓発・指導効果を高める方策を引き続き検討する。																												
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※過去3年間に何らかの改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。(小幅な改善は含みません。)																																
① 現状の実施状況及び実施手法に対する認識																																	
<table border="1"> <tr> <td>事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td>無</td> <td>選択の理由</td> <td>カラス被害は継続している。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>有</td> <td>選択の理由</td> <td>委託により夜間の事業所訪問等も実施している。</td> </tr> <tr> <td>(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。</td> <td>有</td> <td>選択の理由</td> <td>事業予算全額が委託料であり、希望型指名競争入札により業者を決定している。</td> </tr> <tr> <td>執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。</td> <td>適正</td> <td>選択の理由</td> <td>執行率は90%台後半の水準である。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td></td> </tr> </table>						事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	カラス被害は継続している。	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託により夜間の事業所訪問等も実施している。	(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	事業予算全額が委託料であり、希望型指名競争入札により業者を決定している。	執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率は90%台後半の水準である。	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名									
事業の中に時代の変化や環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	カラス被害は継続している。																														
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託により夜間の事業所訪問等も実施している。																														
(委託の場合)事業者見積を鵜呑みにせずコスト削減に努めているか。	有	選択の理由	事業予算全額が委託料であり、希望型指名競争入札により業者を決定している。																														
執行率は適正か。 ※「適正ではない」場合はその対策も理由欄に記載。	適正	選択の理由	執行率は90%台後半の水準である。																														
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																															
② 「目標に対する成果の状況を踏まえた課題(3-(1)-②)」についての改善の取り組み																																	
<table border="1"> <tr> <td>過去3年間に改善を行った。</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>令和2年度拡充により事業者訪問による適正排出協力依頼を開始。年間約20件の事業者を訪問している。</td> <td>予算措置</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>改善の予定</td> <td>無</td> <td>無</td> <td>改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善の内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予定時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予算措置</td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td></td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>						過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	令和2年度拡充により事業者訪問による適正排出協力依頼を開始。年間約20件の事業者を訪問している。	予算措置	有	改善の予定	無	無	改善の予定がない理由				改善の内容					予定時期		予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由	
過去3年間に改善を行った。	はい	はい	取組内容及び効果	令和2年度拡充により事業者訪問による適正排出協力依頼を開始。年間約20件の事業者を訪問している。	予算措置	有																											
改善の予定	無	無	改善の予定がない理由																														
改善の内容					予定時期																												
予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由																												
③ 事務改善(事務効率化)の余地																																	
<table border="1"> <tr> <td>効率化の余地</td> <td>無</td> <td>無</td> <td>余地のない理由</td> <td>カラス被害の多い時期に限定して業務実施期間を設定するとともに、被害を特定して対応している。</td> </tr> <tr> <td>効率化の内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予定時期</td> </tr> <tr> <td>予算措置</td> <td></td> <td>「有」の場合</td> <td>予算を伴わない実施との比較検討</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> </table>						効率化の余地	無	無	余地のない理由	カラス被害の多い時期に限定して業務実施期間を設定するとともに、被害を特定して対応している。	効率化の内容				予定時期	予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由													
効率化の余地	無	無	余地のない理由	カラス被害の多い時期に限定して業務実施期間を設定するとともに、被害を特定して対応している。																													
効率化の内容				予定時期																													
予算措置		「有」の場合	予算を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																													
(3) 必要性/優先度	【区が実施する必要性(C)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒		B	根拠	通学・通勤者が多く、美観への特別な配慮が必要な地域である。																												
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																
① 区が実施する理由(複数選択可)																																	
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>その他(理由) 池袋駅周辺のイメージダウンを避けることで、多くの来街者の再訪が期待でき、区の活性化につながる。</td> </tr> </table>						<input type="checkbox"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。	<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input checked="" type="checkbox"/>	その他(理由) 池袋駅周辺のイメージダウンを避けることで、多くの来街者の再訪が期待でき、区の活性化につながる。																				
<input type="checkbox"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。																														
<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input checked="" type="checkbox"/>	その他(理由) 池袋駅周辺のイメージダウンを避けることで、多くの来街者の再訪が期待でき、区の活性化につながる。																														
② 区民ニーズ																																	
<table border="1"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(活動)</td> <td></td> <td>指標番号(成果)</td> <td>①</td> <td>サービス利用者数</td> <td>50名以上</td> </tr> <tr> <td>「有」「無」ともに記入</td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td></td> <td>推移</td> <td>増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="8">公衆衛生と美観の維持が区民満足度向上に資する。</td> </tr> </table>						区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)		指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上	「有」「無」ともに記入			推移		推移	増加			区民ニーズに対する認識	公衆衛生と美観の維持が区民満足度向上に資する。								
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)		指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上																									
「有」「無」ともに記入			推移		推移	増加																											
区民ニーズに対する認識	公衆衛生と美観の維持が区民満足度向上に資する。																																
総合評価(D=A+B+C)		ランク3																															
今後の事業費予算要望(E)		現状維持		根拠	訪問件数増を検討しているが、現状では、既に訪問した事業者への継続支援の優先度が高い。																												
今後の事業の方向性(D+E) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)		A':改善・継続		Dの場合 → 終了の理由																													
《上記判断を踏まえた所管課の認識》																																	
令和2年度から集積所を使用する事業所を訪問し、ごみの排出方法等の協力依頼も行っているがカラスによる被害が後を絶たないため、粘り強く事業を継続する必要がある。																																	